

# 視察研修報告書

1 委員会名
産業建設常任委員会
2 実施名称 (テーマ)
(1) 国営越後丘陵公園の運営についての説明、現地視察 (2) みつけイングリッシュガーデンの運営についての説明、現地視察 (3) 農産物の6次産業化に取り組む事業者のブースを見学
3 実施期日
令和元年11月5日(火)～6日(水)
4 実施場所
(1) 新潟県長岡市 国営越後丘陵公園 (2) 新潟県見附市 みつけイングリッシュガーデン (3) 新潟県新潟市 フードメッセ in にいがた 2019 (にいがた6次化フェア 2019)
5 実施目的
(1) 公園の管理と入場者を増やすための運営の工夫についてうかがい、現地を視察し、中之条ガーデンズ整備、運営の参考とする (2) ガーデンの管理運営と市民ボランティアによる管理についてうかがい、現地を視察し、中之条ガーデンズ整備、運営の参考とする (3) 農産物の6次産業化の取組みの現状を見学する
6 参加者の氏名
委員長 関常明 副委員長 関美香 委員 齋藤祐知、篠原一美、大場壯次
7 その他

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	産業建設常任委員会 関 常明
2	視察研修の実施名称（テーマ）
1	中之条ガーデンズ完成に向けて
2	中之条町農業の将来に向けて
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
1	<p>中之条ガーデンズ完成に向けて</p> <p>中之条ガーデンズ完成オープンに向けて重要なコーナーになるバラ園の視察をする。バラ園については比較的小規模なところも多く十分比較対象になる場所を選定する。気候条件も比較的近い山間準寒冷地を視察する。</p> <p>イングリッシュガーデンは歴史のある英国仕込みであり日本庭園とも精神の部分で通じるものもある。固定のファンもいて各地を見学している。</p> <p>ガーデンズは有料施設として開園を目指しているが入場数、施設の将来性等どの程度検証ができるかなど考えながら意見交換もしてきた。</p> <p>ガーデンズは選挙を通して町を二分する意見の対立があった。町の施設としてどのくらいの位置を占めるかはこれからの課題であるが、つむじ、道の駅などと合わせて町の文化を背負っていく施設にしなければならないと考える。運営についてはこれからの問題になるが有料入場を考えると厳しい数字も想定される。意見交換の中でもボランティアの参加が一つのカギになると感じる。当然地域性、地域の気質なども勘案しながら中之条スタイルを作っていくことが重要であるが、ボランティアのスキルも高いし自主性も感じられた。町民が町の財産と考えられるような方向性を出せる運営が課題となる。</p>
2	<p>中之条町農業の将来に向けて</p> <p>中山間地農業は人口減少社会の直撃を受けて中之条町も厳しい状況である。一部特産品はあるものの将来厳しい現状を直視していく必要がある。農産物6次化は大学の教授が提唱して農水省も推奨している事業である。生産するだけではなく農産物加工なども含め価値を上げて生産販売をする事業である。新潟市を中心に開かれている第7回のフードメッセ in にいがたの会場を視察した。器具販売業者のほかに成功の農家が出店していた。そこまでにたどり着く過程も重要だと感じた。時代を考えた時、産業としての農業は追求していくのは当然であるが地域の現状を見る時にいきなり商品化のハードルは高いと感じる。近所での野菜のやりとりや加工品などを販売できる制度を考えかたとして置き換えて第一歩にしたらと思った。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>ガーデンズについては情報を開示していく</p> <p>農業問題については将来を見据えていく</p>

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	関 美香
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	1) 国営越後丘陵公園（公園と業務の概要について） 2) みつけイングリッシュガーデン（見附市の花と緑の取り組みについて） 3) フードメッセ in にいがた 2019（食の国際見本市の見学）
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	1) 国営越後丘陵公園：全国で17カ所あるうち北陵唯一の国営公園。平成10年に開園され、年間の入園者数は約50万人。花の公園のイメージが定着しており、女性の割合が多く、健康ゾーンと里山ゾーンに分かれており、健康ゾーンでは遊具利用を目的とするファミリー層が多い。駐車場、そして入場ゲートにおいて従業員の対応にとっても良い印象を受けた。これがおもてなしの大切な部分であり、来年本格的オープンを迎える中之条ガーデンズにおいても取り入れていくべきだと感じた。また身体障害をお持ちの方が利用しやすく整備されており、中之条ガーデンズにおいても誰もが利用しやすい施設設備の必要性を感じた。 2) みつけイングリッシュガーデン：興味深かったのは、日常の植栽管理を市民団体に任せている所である。開園4年前に「ナチュラルガーデンクラブ」を立ち上げ、先進地視察研修を毎年実施、技術を身につけてもらい、開園時より公園サポーター活動を開始した。日々の活動の費用補償が時間500円支出されている。園内が美しく整備されており、「ナチュラルガーデンクラブ」の能力の高さを感じた。中之条ガーデンズが完成後いかに園内を美しく保っていくかが重要な課題であるとの思いがさらに強くなった。 3) フードメッセ in にいがた 2019:11回目を迎える地域の強みを生かした食産業に貢献する見本市。第1回目の開催より地方から全国に向けた食の販路拡大への取り組み、一次産業と流通を提供する「にいがた6次化フェア」など各方面から注目をされている。中之条町の農業の未来を守っていくためには、農産物に価値を付ける6次化への取り組みが必要であると感じた。そして商品となった物を積極的に外へ発信し、販路拡大に務めていくことが重要であると思った。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	齋藤 祐知
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	① 新潟県長岡市 … 国営越後丘陵公園視察（面積約 400 ヘクタール） ② 新潟県見附市 … みつけイングリッシュガーデン視察 ③ 新潟県新潟市 … フードメッセ in にいがた 2019（にいがた 6 次化フェア 2019）
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>① 国土交通省北陸地方整備局国営越後丘陵公園事務所の 2 名の方より説明を受けた。魅力ある公園をめざし、花空間の充実・地域連携の推進・冬期の利用推進、公園からの情報発信等々概要及び取り組みについて説明して頂いた。</p> <p>この公園では、現在 6 つのボランティア団体と園内の整備・開拓等を行っており、きめ細かなサービスの提供、花修景の装飾・環境美化、里山の景観の復元と保持等々に貢献している。</p> <p>ボランティアの会員だが、ばらボランティアの会員数は 62 名、フラワーボランティア 33 名、花の里山ボランティア 25 名、里山づくりの会 19 名、パークフィットネスボランティア 37 名、フォトボランティア 37 名。200 名以上のボランティアの方々が活動しているとのことでした。</p> <p>説明を受けた後現地視察を行い、香りのばら園、花の丘、木製遊具、水遊び広場、ふわふわドーム大小 7 個、ローズカフェ、花と緑の館、緑の千畳敷、園内を回る変形自転車等々見て回った。11 月の視察の為季節柄花等はあまり無かったがボランティアの方々が一生懸命活動し、園内を整備、非常にきれいで整った公園であり充実した公園だと感じた。</p> <p>② みつけイングリッシュガーデンの視察では見附市議会副議長より歓迎の挨拶をいただいた後、産業厚生委員会委員長と建設課の方の 2 名より説明を受けた。</p> <p>このガーデンの監修は世界的にも評価の高い英国園芸研究家ケイ山田さん、運営費は管理費 21,621 千円、景観緑化推進事業費（ボランティアの方の 1 時間 500 円の費用補償を含む）8,525 千円、合計 30,146 千円との事。職員 5 名の他、市民ボランティア団体「ナチュラルガーデニングクラブ」の会員数が 124 名おり、ナーセリー（育苗施設）にて会員の方々が年間 6 万ポット以上を生産し、ガーデンへの植栽のほか、市内の学校、公共施設、緑花団体等に配布しているとの事。</p> <p>概要として建設費については、国庫補助事業（都市公園等総合補助事業、補助率 50%）。H18 年 1 億円、H19 年 3 億円、H20 年 2 億円、総額 6 億円との事。</p> <p>入園料は無料（協力金募金箱が設置されている。1 人 100 円）。</p> <p>この公園についてもボランティアの方々が活動し、整備も行き届き充実感があつた。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>◎ 中之条ガーデンズ第 4 期工事も終了するが、終了後の運営方法も早めに考えておく必要がある。職員及び臨時職員のみでは到底出来ないと思う。早めにボランティアの確保、又、管理についても花の事を熟知している方の確保養成等今後の課題と思う。</p> <p>◎ 工事終了後の入園料についても、町民の方は一人 1,000 円では何回も行かない、500 円位が適当ではないかと伺っている。</p> <p>◎ 冬期は休園になると思うが、休園期間のみイルミネーションを実施してはどうか。あしかがフラワーパークでは現在 450 万球、今年度は 500 万球にするとの事。当ガーデンズも光の庭にしてはどうだろう。</p>

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	篠原 一美
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	<p>国営越後丘陵公園の運営について</p> <p>みつけイングリッシュガーデンの運営について</p> <p>農産物の6次産業化について</p>
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>（1）国営越後丘陵公園の運営について</p> <p>当公園は、400haの広大な面積を有する公園である。「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマとした広域的なレクリエーションや文化活動に対応している公園である。バラ園については、モダンローズが主に植栽され「香りのエリア」「色彩のエリア」「殿堂入りしたばらのエリア」などで構成されていた。</p> <p>※ 広大な公園であり、テーマを明確にしたバラ園を中心に視察した。</p> <p>（2）みつけイングリッシュガーデンの運営について</p> <p>見附市は「市民と行政の協働」を掲げ当公園の運営は市民を中心とした活動組織により行うことを理想とし、開園4年前に「ナチュラルガーデンクラブ」を立ち上げた。</p> <p>「ナチュラルガーデンクラブ」は、サポーター会員（有償ボランティア・42名）と一般会員（無償ボランティア・82名）で構成され、同公園（2.2ha）は、4名の臨時職員とサポーター会員により運営されている。</p> <p>① 運営(サポーター会員)</p> <p>植栽作業のガーデン班(35名)、育苗作業のナーセリー班(7名)、管理(臨時職員4名)</p> <p>② 費用</p> <p>有償ボランティア（1h500円）年間約350万円</p> <p>管理費・景観緑化推進事業費総額30,146千円（有償ボランティア報酬を含む）</p> <p>③ 入場料（H30年）</p> <p>運営管理協力金2,100千円（一人100円程度） 入場者数158千人</p> <p>※ 中之条ガーデンズの運営についても、ボランティア活動が大きな成果に繋がると思料する。</p> <p>（3）農産物の6次産業化について</p> <p>6次産業化した商品および6次産業化に欠かせない機械の展示を見学</p> <p>※ 中之条町の特産品の6次産業化の支援の検討</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>基本テーマを明確にし、基本テーマに沿った事業の推進と運営管理を行いその効果を追求する重要性を再認識した。「花と湯の町なかのじょう」が基本テーマとすれば、中之条ガーデンズに「足湯」の導入が必要では</p>

## 視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	大場壯次
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国営越後丘陵公園の運営について。</li> <li>・ みつけイングリッ、シュガ)デンの運営について。</li> <li>・ 農産物の6次産業化について。</li> </ul>
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>・ <b>国営越後丘陵公園の運営について。</b></p> <p>国立公園は全体計画面積が400haあり、開園面積は340ha(健康ゾーン120haは遊具が充実して子供たちに人気あり。里山フィールドミュージアム220haは景観が良い)。</p> <p>年間入園者は、平成27年度55万人がピークで現在50万人を維持している。来場者の属性は女性65.5%、男性34.5%、花のイメージが定着しており女性が多い。健康ゾーンでの遊具が充実しているので子供連れファミリー層が多い。</p> <p>年間を通して時期に応じ、各種イベントが盛りだくさんある。運営管理は、公園財団・グリーン産業・JR東日本コンサルタンツ共同企業体で国から委託管理をしていて、6団体のボランティアグループが活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>質疑</b> ボランティア募集の経緯を教えてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初は取引のある業者の方から始まり、段々に人伝いに興味のある方に広まって行った。</li> <li>・ ボランティア活動は無償であるが、年に旅行会がある。</li> </ul> </li> <li>・ <b>質疑</b> 国営公園の収支に関して国の方向性、方針はどうか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越後公園管理センター（公園財団・グリーン産業・JR東日本コンサルタンツ企業体）に委託している。国民の福利厚生的な施設の取り扱いである。</li> </ul> </li> <li>・ <b>所感</b> 中之条ガーデンズにおいては、見頃でない時期もあるので、遊具施設を設けた方が良いと感じた。（公園の景観を損ねないようにして、室内でも良いと思う）</li> </ul> <p>・ <b>みつけイングリッシュガーデンの運営について。</b></p> <p>特徴ある公園づくりの観点から、英国式研究家のケイ山田氏に公園監修を依頼し、平成18年度から事業(総事業費6億円)を開始し、平成21年度から全面開園。入園無料(協力金募金箱あり、100円)</p> <p><b>市直接運営</b> 正職員1名、臨時職員4名 <b>開園期間</b> 4月1日～11月30日</p> <p><b>市民ボランティア参画状況</b> 日常の植栽管理は、ほぼ公園サポーターにお任せ、費用弁償は時間500円 <b>運営費</b> 年間支出額30,146,000円、収入額2,131,326円(年間14万人以上来園)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>質疑</b> 総事業費が6億円の割に、年間の維持管理費が約3千万円と安いと思いますが。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民ボランティア活動が大きい。イングリッシュガーデンは、日本庭園より管理費が安い</li> </ul> </li> <li>・ <b>所感</b> 中之条ガーデンズにおいて、運営管理費の削減を、どの様にしたら良いかが課題になる</li> </ul>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）